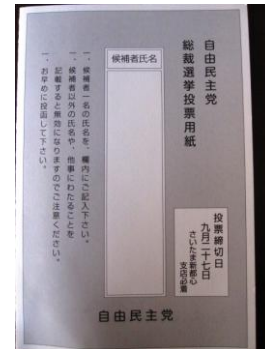


◆ 自民党・総裁選挙



9月28日に投票が行われ新総裁が選任されます。衆議院議員の西村康稔(やすとし)、河野太郎、谷垣禎一(さだかず)、の三氏が立候補し、候補者は全国12カ所を遊説しました。

北関東ブロックでは唯一川口で街頭演説会が開かれ、1500人の聴衆が集まりました。



※結果は、総裁選の開票が28日行われ、谷垣禎一候補が第24代自由民主党総裁に選出された。谷垣候補が獲得したのは議員票120、党員票180の合計300票。河野太郎候補は、議員票35、党員票109、合計144票。西村康稔候補は議員票43、党員票11、合計54票だった。



自民党再生の為の新藤義孝衆議院議員の考えは？

①党の体質転換を断行する。

今回の総選挙で党の支持者からも拒否された自民党の古い体質、

- ・派閥の長老による密室談合政治。
- ・麻生総裁おろしに代表される党内抗争の繰り返し。
- ・天下りに厳しく対処できず、官僚依存の無駄遣い政策。これらの自民党の悪癖を思い切って根絶し、抜本的に党の体制と運営方法を改めること。

②魅力ある政策の提示

総選挙では民主党が掲げた子ども手当や、高速道路無料化などの個別利益政策に対し、自民党の政策が民主マニフェストの追随と受け止められ、投票行動に大きな影響を受けた。自民党は立党の原点に立ち返り、保守政党である自民党らしい魅力ある政策を提示する。

さらに、景気後退、リストラ、給与カットなど日本を取り巻く閉塞感と現状への不満を打ち払い、新しく希望に満ちた国家像・将来ビジョンをわかりやすく打ち出すこと。

※週刊しんどう第184号より抜粋 (<http://www.shindo.gr.jp/2009/09/184.php>)